

環境調査結果のお知らせ

平成27年5月20日午前8時半から浦ノ内湾の環境調査を実施しましたので、結果をお知らせします。

概況

湾内の環境は、水温20～24℃、塩分27～31、溶存酸素量2～11mg/lで、湾奥から大鹿の底層に貧酸素水塊が認められました。

透明度は2～3mで、有害種のカレニア・ミキモトイ、シャットネラ属、シュードシャットネラ・ベルクローサ、ケラチウム属が増殖していました。

水温と塩分(表1・2)

水温20.0～23.6℃、塩分26.5～31.3でした。

前回調査時(H27.5.11)と比較して、水温は表層から10m層で0.3～1.9℃上昇し、底層で0.6℃低下していました。塩分は表層で3.7下降、2m層で0.1上昇、5m層から底層で0.2～0.5下降していました。

溶存酸素量(表3)

溶存酸素量は1.9～10.6mg/lでした。前回調査時と比較して、表層から2m層で0.7～0.9mg/l増加し、5m層から底層で0.5～4.1mg/l減少していました。

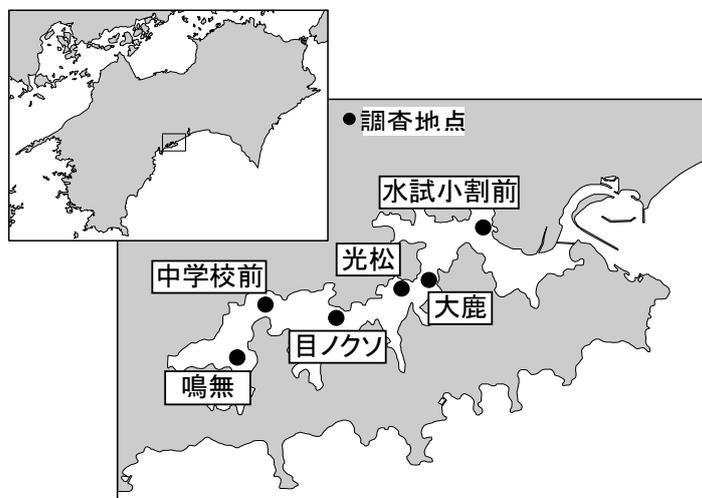
また、湾奥から大鹿の底層が貧酸素状態となっていました。

透明度・プランクトン(表4・5)

透明度は2.4～3.1mでした。

検鏡の結果、有害種のカレニア・ミキモトイが最高で950cells/ml、シャットネラ属が最高で6cells/ml、シュードシャットネラ・ベルクローサが最高32cells/ml、ケラチウム属(C.フルカ、C.フスス)が最高で160cells/ml確認されました。カレニアについては鳴無と目ノクソの各5m層で被害が想定される細胞密度に達しています。ケラチウム属についても中学校前と目ノクソ、大鹿の各5m層で被害が想定される細胞密度に達しています。今後さらに増殖し、養殖漁場でも被害が想定される細胞密度に達する危険性があります。慎重な養殖管理をお願いします。

海や養殖魚の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。



漁業被害が想定される細胞密度

- ・カレニア・ミキモトイ: 数百～数千cells/ml(魚類等のへい死)
- ・シャットネラ属: 10～100cells/ml(魚類のへい死)
- ・シュードシャットネラ・ベルクローサ: 500～1,000cells/ml(魚類等のへい死)
- ・ケラチウム属: 100cells/ml(餌食いの悪化)

環境調査結果表(水温・塩分・プランクトン等)

表1 水温(°C)

調査地点	中学校前	目ノクソ	光松	大鹿	水試小割前	漁場平均 ※	前回調査(H27.5.11)	
							漁場平均	前回との差 今回-前回
0m	23.4	23.5	23.4	23.6	22.3	23.5	21.6	1.9
2m	22.4	22.3	22.1	22.0	22.0	22.1	21.3	0.8
5m	21.5	21.2	21.4	21.4	21.3	21.3	20.8	0.5
10m	20.7	21.0	20.8	21.0	—	20.9	20.6	0.3
B-1m	20.1	20.0	20.0	20.1	21.2	20.0	20.7	▲ 0.6

表2 塩分

調査地点	中学校前	目ノクソ	光松	大鹿	水試小割前	漁場平均 ※	前回調査(H27.5.11)	
							漁場平均	前回との差 今回-前回
0m	28.0	26.7	26.5	26.5	28.8	26.6	30.3	▲ 3.7
2m	30.6	30.5	30.5	30.5	29.7	30.5	30.5	0.1
5m	31.0	31.0	31.0	31.0	31.0	31.0	31.2	▲ 0.2
10m	31.1	31.1	31.1	31.1	—	31.1	31.4	▲ 0.3
B-1m	31.0	31.2	31.2	31.3	31.1	31.2	31.7	▲ 0.5

表3 溶存酸素量(mg/l)

調査地点	中学校前	目ノクソ	光松	大鹿	水試小割前	漁場平均 ※	前回調査(H27.5.11)	
							漁場平均	前回との差 今回-前回
0m	10.6	10.3	9.6	9.7	8.5	9.9	9.0	0.9
2m	10.6	10.1	8.9	7.8	7.4	8.9	8.2	0.7
5m	7.3	5.9	6.3	6.2	5.8	6.1	6.6	▲ 0.5
10m	4.3	5.0	4.4	5.1	—	4.9	5.8	▲ 1.0
B-1m	2.1	2.3	1.9	2.1	5.5	2.1	6.2	▲ 4.1

※ 目ノクソ・光松・大鹿の平均値

表4 水深・透明度(m)

調査地点	中学校前	目ノクソ	光松	大鹿	水試小割前
水深	13.6	15.0	17.4	17.2	10.2
透明度	3.0	3.1	2.5	2.6	2.4
前回(4/24)	3.2	3.1	3.0	2.7	3.6

表5 プランクトン(cells/ml)

		カレニア・ ミキモトイ	シャットネラ 属	シュードシャット ネラ・ベルク ローサ	ケラチウム属 (C.フルカ、C. フスス)	珪藻類	
中学校前	0m	270	0	23	70	1,400	
	2m	170	1	20	80	1,400	
	5m	270	0	13	110	1,500	
目ノクソ	0m	240	0	9	60	3,200	
	2m	100	0	32	70	3,800	
	5m	950	0	9	125	900	
光松	0m	30	0	9	2	3,100	
	2m	21	0	27	13	4,800	
	5m	220	0	9	70	2,600	
大鹿	0m	38	0	8	2	5,300	
	2m	35	0	11	20	3,000	
	5m	250	0	7	160	1,600	
水試小割前	0m	17	0	22	0	8,600	
	2m	14	0	20	1	6,400	
	5m	3	0	7	11	1,300	
鳴無	0m	18	0	8	8		
	2m	230	1	21	1		
	5m	750	6	4	47		